

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 5月 7日

事業所名 りんくる学園通り

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8				
	2	職員の配置数は適切である	8				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	5	1	エレベーターはなくバリアフリー化はされていないが、階段にてすりは設置されている。	賃貸物件により大きな工事が難しい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	1		必要に応じて行っていく。	必要な際には検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1		研修案内があるときには周知されている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			活動ごとにチームを編成している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			ミーティングの中で、子供の様子を振り返った事を記入しみんなで共有している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	8				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	8			送迎等で、学校の職員とコミュニ ケーションを図り、情報を共有出 来るようにしている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	5	3			対象となる児童がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	6	2			情報共有に努めているが、できてい ない児童もいるため共有を強化して いく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	5	3			対象となる児童がまだいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	6	2		研修がある場合には周知 し、希望者には受けてもらっ ている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	4	1	3	今年度は児童館の利用も活動に 取り入れていた。	児童館の利用はあるが、交流がで きていなかったので今後の活動計 画に取り入れていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	6	2			機会があれば参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	8				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	8				
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	8				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	8				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	8				
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	8			保護者様からの要望にはその都 度傾聴、改善を行うようにしてい る。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	8			ブログにて日々の活動の様子を 発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	8				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	8				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	6	2		年に一回発表会を開催している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			マニュアルを作成し周知している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			報告書を作成するなどして職員間で共有し、今後の対策を話し合っている。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 5月 7日

事業所名 りんくる学園通り 2単位

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	4	1	1		児童も職員も増えて窮屈に感じ る。食事の時間は、パソコン室も 2部屋に分けて工夫している。
	2	職員の配置数は適切である	6				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	1	4	1		賃貸物件のため改装は難しい。 2階へ行く手段が階段しかない が、手すりは設置している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	6				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	6				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	6			ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	6				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	5	1			研修案内の周知を行っている。
適切な支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	6				
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	6				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	5	1		平日は固定化しているが、土 曜日や長期休みで普段と違う 活動を取り入れている。	平日にパソコン活動を選択する 児童が多いが、選択制を取って いる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	6				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	6				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	6				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	5	1			翌日にミーティングを行ない、 支援の振り返りや気づいた点 などを共有できるようにして いる。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	6			職員で会議を行い、個別支 援計画の見直しの必要性を 判断している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	6				

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	6				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	6				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	4	2			現在、対象となる児童はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	5	1			保護者や相談員さんと情報 共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	4	2			今後、対象の児童がいれば 対応していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	5	1			研修会など、機会があれば 参加したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	3		3		地域の学校の学園祭や行事で 障がいのない子ども達と交流し ている。土曜日や長期休みで児 童館や地域のイベントに参加し ていく。また、異動や新規職員へ の周知をしていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	5	1			機会があれば参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	6				
保護者への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	6				
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行ってい る	6				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	5		1		今年度は5月と11月に保護者 会を行った。異動や新規職員 への周知をしていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	6				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5	1			ブログを月に2回更新して活 動内容の発信を行っている。 異動や新規職員への周知を していく。
	35	個人情報に十分注意している	6				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	4	2			1年に1回、全事業所での発 表会があり、児童のご家族や 知り合い、関係機関の方を招 待している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1			今年度は6月と12月に避難訓練(地震・火災)を行った。異動や新規職員への周知をしていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1			事例は無いが、今後対象児童がいれば対応していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			報告書を作成するなどして職員間で共有し、今後の対策を話し合っている。	